

学生の安全・安心に係る役立つ情報集

悩みや不安がある場合は、記載の相談窓口に加えて、
神戸学院大学 学生支援センターへ相談してみてください。
(KPC1) 078-974-4575 (KAC) 078-974-1473

◆消費者被害防止・詐欺的な投資勧誘による被害防止

- POINT1: “インターネット販売はクーリングオフ規定ができない” “契約は双方の同意を得た時点で成立（口約束でも成立）”など、
契約を行う際には正しい知識を身に付けておくことが大切。
- POINT2: 悪質商法等の被害に加え、SNSの普及により、誤った広告内容に惑わされる事例や、**一部の悪質なホストクラブなどにおいて、不当な勧誘を行い契約を結ばせる等の事案など、被害が多様化していることにも注意が必要。**
- POINT3: 「オイシイ投資話」にすぐに飛びつくのではなく、一旦考えたり、信頼できる身の回りの人に相談することが大切。

【啓発資料】

「社会への扉」（消費者庁：若年者向け消費者教育教材）

https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_education/public_awareness/teaching_material/material_010/assets/teaching_material_240508_0001.pdf

【相談窓口】

188（いやや!）（消費者ホットライン）

https://www.caa.go.jp/policies/policy/local_cooperation/local_consumer_administration/hotline/

0570-016811又は03-5251-6811（金融サービス利用者相談室）

<https://www.fsa.go.jp/receipt/soudansitu/index.html>

◆学生アルバイト問題・労働法制の啓発、いわゆる「闇バイト」に関する被害防止

- POINT1: 大学学部（昼間部）の83.8%がアルバイトに従事しており、就職活動をはじめ、**学生の多くが労働問題に直面。**
- POINT2: アルバイトや就職先を決める際は**事前に労働条件をよく確認**するなど、**適切な労働条件が確保されているか確認することが重要。**
- POINT3: 一般のアルバイト求人サイトに掲載されているなど、手口は年々巧妙になっているため、目先の報酬に目がくらみ、甘い言葉に惑わされないよう、気を付けることが大切。
- POINT4: 被害にあった場合や既に心当たりがある場合は、**更なる重大な犯罪を行う前に勇気をもって警察に相談することが大切。**

【啓発資料】

厚生労働省「アルバイトをする前に知っておきたい7つのポイント」

<https://www.mhlw.go.jp/content/11201250/001221082.pdf>

○関わってしまった場合

#9110（警察庁総合相談センター）

○被害にあった場合

03-3597-7830（犯罪被害者ホットライン）

<https://www.keishicho.metro.tokyo.lg.jp/sodan/madoguchi/sogo.html>

◆飲酒事故防止

- POINT1: 「イッキ飲み」は急性アルコール中毒を引き起こす可能性があるほか、場合によっては**生命の危険につながることもあるので、自分**
がしなだけでなく、人にもさせてはいけない。
- POINT2: **未成年の飲酒は健康被害だけでなく、アルコール依存症のリスクを高めるため、絶対にしてはいけない。**

【相談窓口】

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000176279.html>

（厚生労働省「アルコール健康障害対策 5. 相談期間等」）

◆薬物乱用防止

- POINT1: 大麻所持或使用等による若者の検挙者が急増。
- POINT2: “大麻は海外で合法”・“市販薬だから用法は守らなくても安全”
などの**誤った情報に流されないことが重要。**

【相談窓口】薬物使用について悩んでいる場合迷わず以下に相談ください。

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/iyakuhin/yakubuturanyou/other/madoguchi.html>

（厚生労働省「薬物乱用防止窓口一覧」）

文部科学省作成（抜粋版）